



報道発表資料の配信日時 12月19日(月) 13時 00分

発表項目 (行事名)	EV自動運転バスを活用した高齢者向けネイルサロンと健康サービスの実証 (令和4年度北海道デジタルチャレンジ推進事業(地産地消エネルギー活用によるMaaS実証実験))		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、デジタル技術を活用して地域の課題を解決する「令和4年度北海道デジタルチャレンジ推進事業」を実施しており、今般採択した岩見沢市北村地区におけるMaaS事業で、以下の実証実験を行うこととなったのでお知らせします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 実施団体：地産地消エネルギー推進コンソーシアム 東光電機工業株式会社(代表)、株式会社はまなすインフォメーション、エミプラスラボ合同会社、株式会社マクニカ、岩見沢市 期間：令和4年12月22日(木)～25日(日) ※報道対応日時：令和4年12月23日(金) 10:00～16:00 ルート：岩見沢市役所北村支所(スタート地点・いずれも往復) <ol style="list-style-type: none"> ①中央地区自治会館：冬道の自動走行 ②高齢者福祉センターえみる：EVバス内での高齢者等住民向け出張サービス ③北村赤川鉱山：EVバスの充電 内容：(EVバスで移動→到着地のEVバス内でサービス提供・EVバス充電) <ol style="list-style-type: none"> (1) 温泉ガス等を活用したマルチ燃料発電機によるEVバスの充電 (2) 高齢者等住民向け出張サービス <ol style="list-style-type: none"> ①保健師による健康チェック(体組成測定、血圧測定等) ②歯科衛生士による口腔チェック(お口の健康状態を健診) ③民間事業者によるハンドマッサージ・ケア、爪のお手入れなど <p>※12月23日(金)は③のみの実証となります。</p>		
参考	地産地消エネルギー活用によるMaaS実証実験(別紙) 北海道デジタルチャレンジ推進事業HP： https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/dtf/iot/111913.html		

報道(取材)に 当たってのお願い	積極的な取材と、報道をよろしくお願ひします。 ※当日の取材に関しては、柔軟に対応させていただきます。	
他のクラブ との関係	同時配付(場所)	同時レク

担当 (連絡先)	<p>(取材に関する問い合わせ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社マクニカ コーポレートマーケティング統括部広報室(担当者：宮原) メールのみ：macpr@macnica.co.jp 岩見沢市 情報政策部 情報政策課(担当者：谷口) TEL:0126-25-8004 (本件に関する問い合わせ) 総合政策部デジタルトランスフォーメーション推進課(担当者：佐々木) TEL:011-204-5172、内線 23-216
-------------	--

実証実験内容

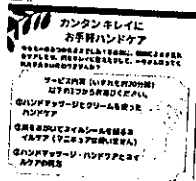
① EV自動運転バスの(冬道)公道走行

- IoTセンサー等を搭載したEV自動運転バスの公道走行を特別豪雪地帯の岩見沢市北村地域で実施
- EV自動運転バスの実証実験で取得したデータの分析、オープン化・利活用を行う



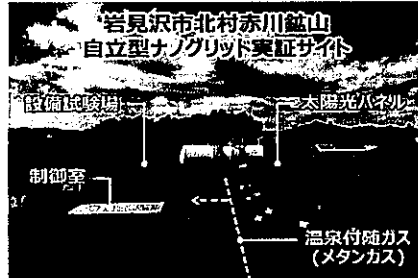
② EV自動運転バスによる地域住民向け出張サービス

- EV自動運転バス内での出張行政サービス実施
市保健師等による健康チェック、口腔チェック
- EV自動運転バス内での民間サービス実施
民間事業者によるハンドケアサービス

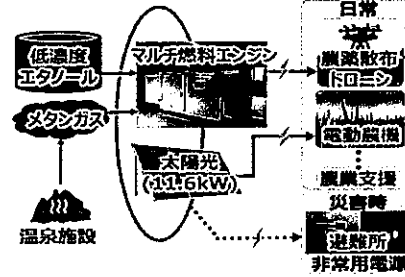
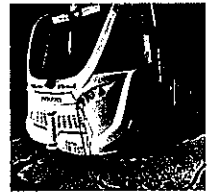


③ 地域エネルギーの利活用

- 北村赤川鉱山施設で実証中の太陽光と温泉付随ガスを燃料に電気を発電するマルチ燃料エンジン(発電機)の利活用拡大の為、EV自動運転バスに充電する設備を構築
- 地産地消エネルギーを活用したEV自動運転バスへの充電などによるCO2排出量削減効果の分析や電力利活用による地域産業の低炭素化の検証

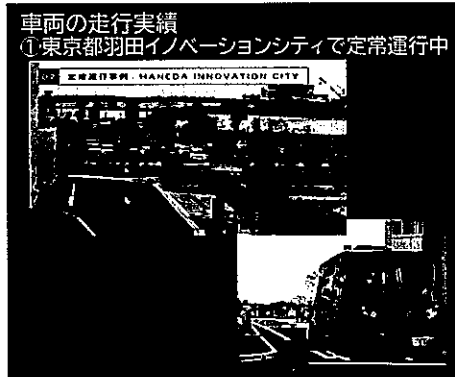


EVバスへの充電の様子

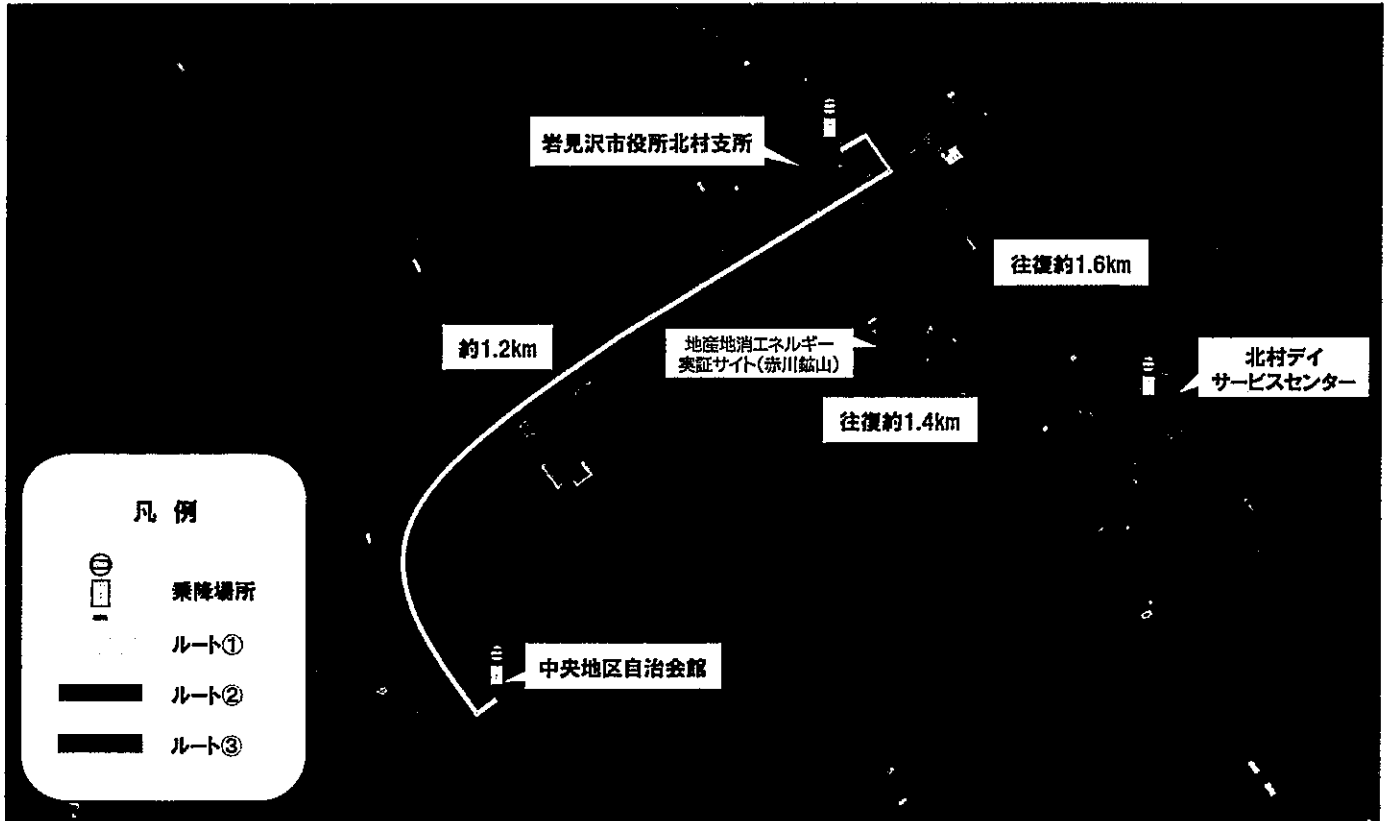


令和4年度 EV自動運転バスの公道走行実証実験について

- 目的 人口減少や少子高齢化、過疎化が進む農村地域における交通手段確保などの課題解決に向けMaaS(マース:Mobility as a Service)の実証実験
- 実証内容 EV自動運転走行車両「ARMA(アルマ)」による岩見沢市北村地域での自動運転技術を使った(冬道の)公道自動走行行政及び民間によるEVバス内でのMaaS(健康・口腔チェック、ハンドケアサービスの実施) 北村赤川鉱山施設内での太陽光及び温泉付随ガスを活用した地産地消・自立型地域エネルギー利活用(EVバスへの充電)
- 実証日時 令和4年12月22日(木)~12月25日(日) 午前10時~午後4時
※報道対応日時:令和4年12月23日(金) 午前10時~午後4時
- 走行ルート ルート①:北村支所 ⇄ 北村中央地区自治会館 ルート②:北村支所 ⇄ 北村サービスセンター等高齢者福祉施設
ルート③:北村支所 ⇄ 北村赤川鉱山
- 車両情報 時速18kmで走行(自動走行Level2)、車両乗車人数 10名(乗客8名、ドライバー1名、車内保安員1名)
- 共同実施体制 地産地消エネルギー推進コンソーシアム
代表企業 東光電機工業株式会社(本社:岩見沢市)・・・プロジェクトマネジメント、地産地消エネルギー実証サイト利活用等
株式会社はまなすインフォメーション(本社:岩見沢市)、エンプラスラボ合同会社(本社:岩見沢市)・・・プロジェクト啓発、実証支援
株式会社マクニカ(本社:横浜市)・・・自動運転車両実装支援、運行支援、オペレータ等 岩見沢市・・・プロジェクト啓発、実証支援
- 協力企業等 株式会社日立製作所(エネルギーに関する助言など)
岩見沢地区ハイヤー協会(MaaS社会実装に向けた運行支援など)
芙蓉オートリース株式会社(自動運転車両提供) 損保ジャパン株式会社(自動車保険、リスクアセスメント)



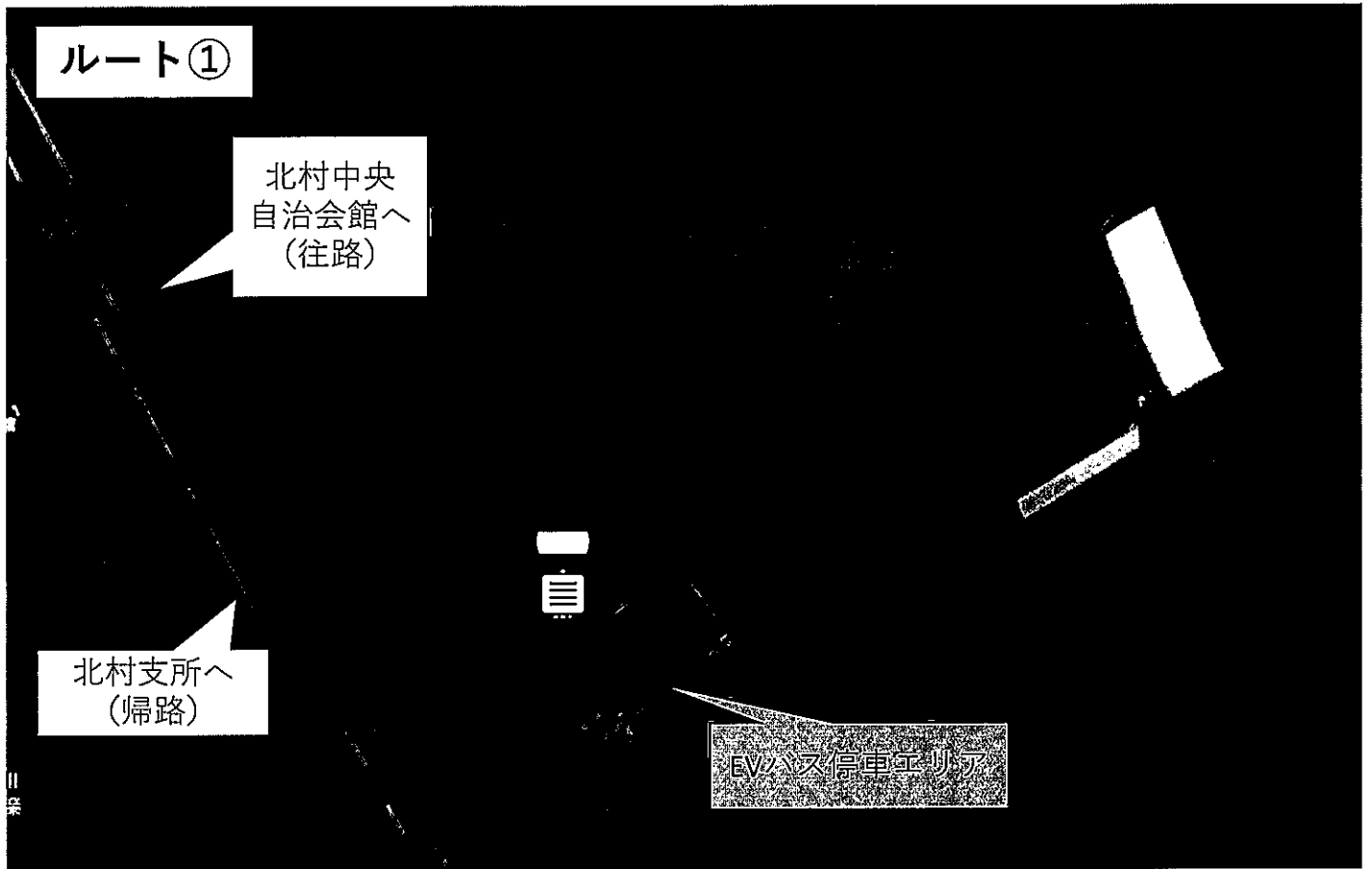
EV自動運転バスの公道走行ルート図(全体)について



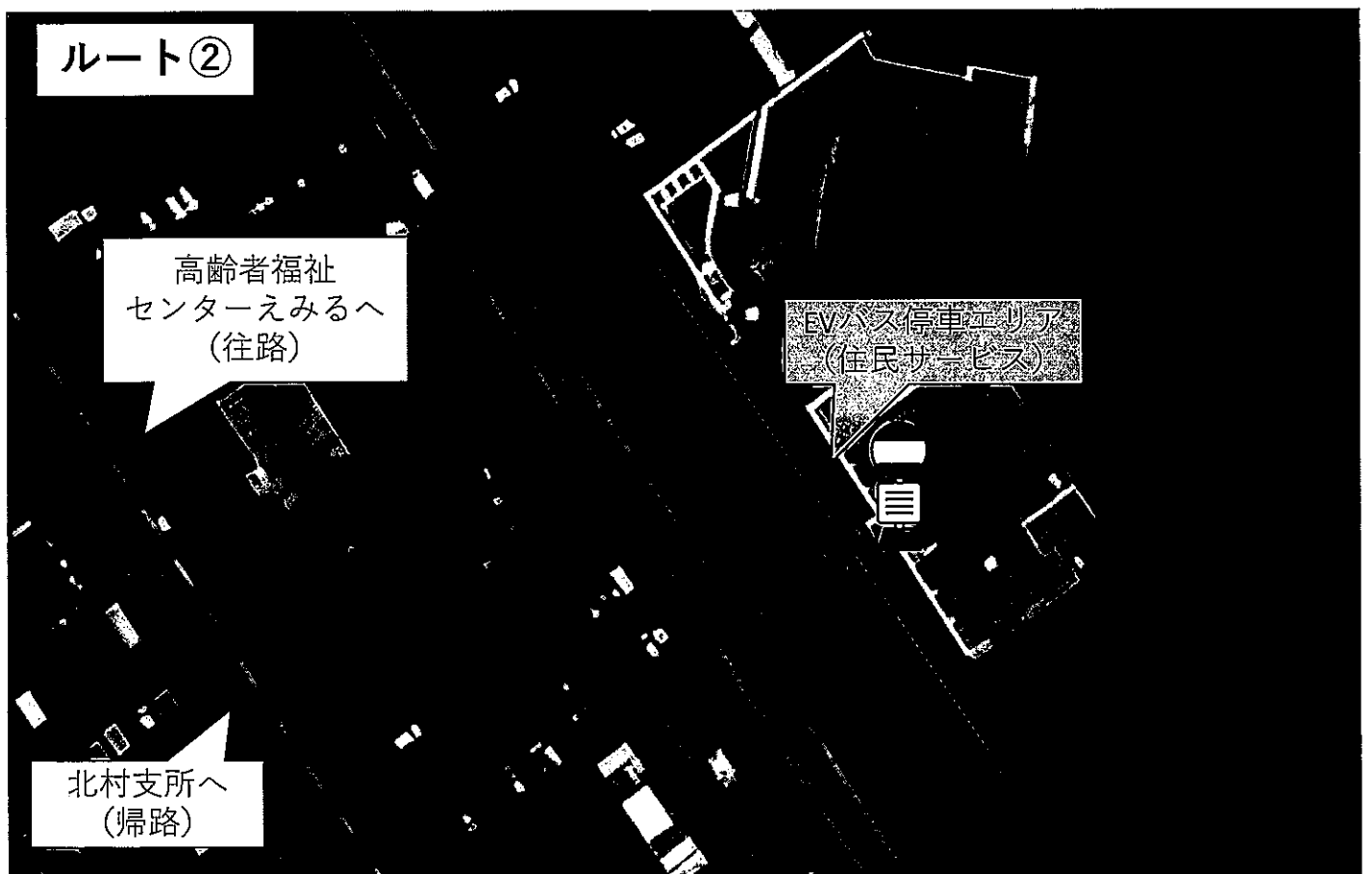
報道機関取材可能エリア①(岩見沢市役所 北村支所)



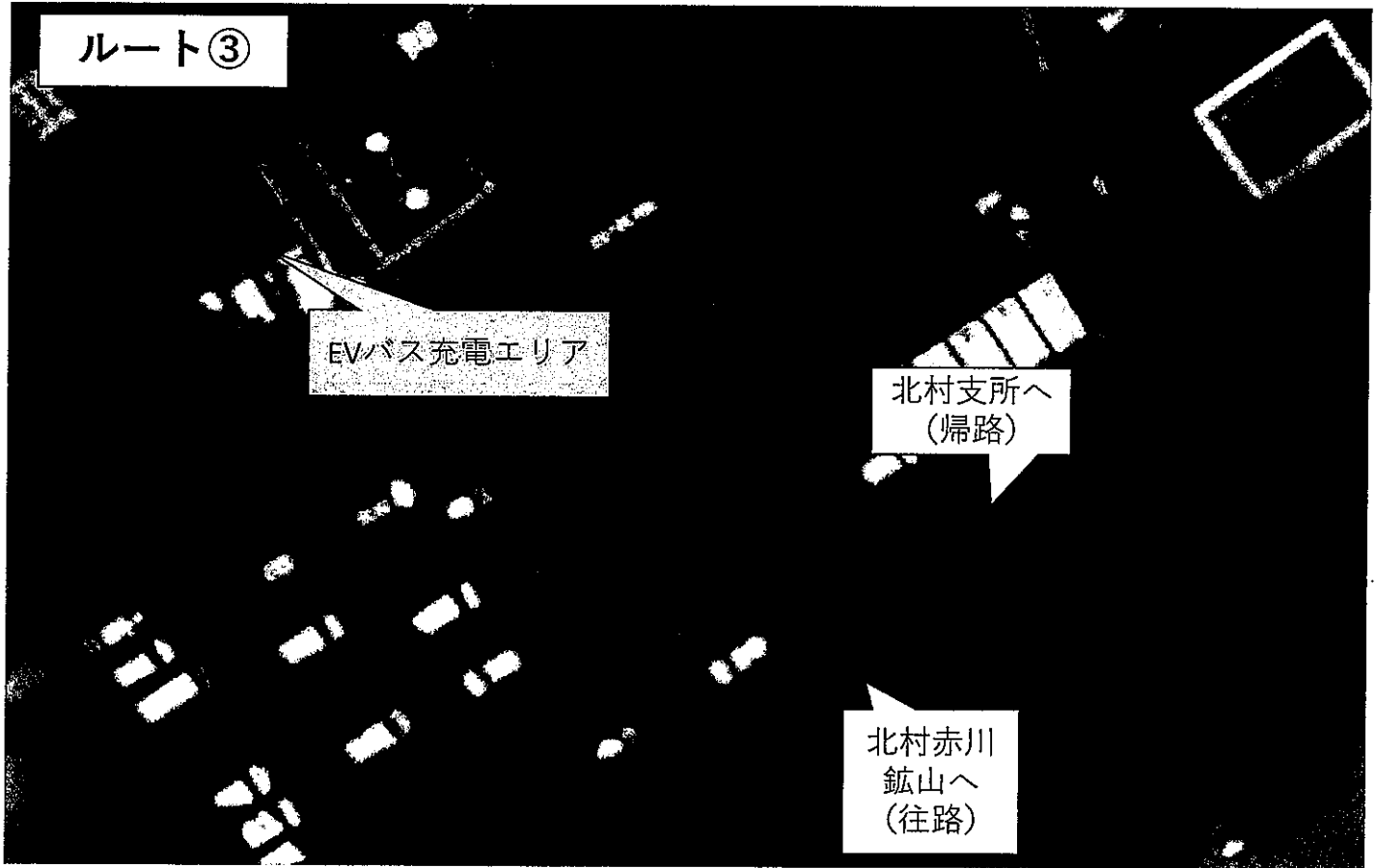
報道機関取材可能エリア②(北村中央地区自治会館)



報道機関取材可能エリア③(高齢者福祉センターえみる)



報道機関取材可能エリア④(北村赤川鉱山)



バス公道走行実証実験 運行表

12月19日時点

12月22日(木)~12月25日(日)は下記のとおり運行いたします。

	発着場所① 北村支所	発着場所② 中央自治会館	発着場所③ 高齢者福祉施設	MaaS サブスクサービスほか	提供時間	特記事項 他交通機関情報
ルート①始発	10:00発→	→10:20着				
	10:50着←	←10:30発				
ルート②始発	11:00発→		→11:15着			
				【行政】健康チェック 【民間】ハンドケア ※23日はハンドケアのみ。	11:20-12:00 (40分)	北村生活支援ハウス利用者を想定
	12:25着←		←12:10発			
地産地消EV実証 サイト(赤川鉱山)					12:35-13:30	EVバスチャージ
ルート②2便	13:45発→		→14:00着			
				【行政】健康チェック 【民間】ハンドケア ※23日はハンドケアのみ。	14:00-14:40 (40分)	北村ディサービス利用者を想定 中央バス北村支所前、北村温泉停車 (岩見沢ターミナル方面) 平日14:03、14:05 (岩見沢ターミナル方面) 土日13:43、13:45
	15:05着←		←14:50発			
ルート①2便	15:10発→	→15:30着				中央バス北村温泉停車、北村支所前 (月形方面) 平日15:51、15:53
	15:50着←	←15:30発				北村地区循環バス(5台)注意 支所前出発 14:49、16:05